

姉妹・友好都市 見てある記

せいいいんしゃ
西冷印社

中華人民共和国 杭州市



西冷印社は世界的に有名な金石篆刻、書道、絵画の学術団体です。西湖の中の孤山島にある本社の敷地には、明清時代の建築遺跡が残っていて、中国江南の優れた庭園の一つに数えられています。唐の時代の大詩人・白樂天が建てたといわれる竹閣をはじめ、漢の三老石屋などは必見です。

1904年に杭州市で金石学と印の研究を目的に、4人の篆刻家のグループとして始まった西冷印社は、今や中国政府より篆刻印石の最高峰の団体と認められ、約20名の日本人も社員として



登録されています。社内では、作品展示のほか、石碑の拓本や書画、印鑑、朱肉の販売も行っています。

分かるかな？

今日の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょう？



正解者の中から、抽選で5名の方に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。なお、答えと一緒に広報さやまを見て感じたことなど、ご意見もお寄せください。

締切り5月31日(金)

4月号の答え

10ページ・狭山歴史のしおり「勝坂式土器」の写真でした。



残しておきたい狭山の風景。⑭



題字・童絵／池原昭治氏

新緑の城山砦跡(柏原地区)

城山砦跡は、北条氏、上杉氏などの戦国武将の名が伝わり、日本三大夜戦の一つに数えられる天文15年(1546)の河越夜戦にもかかわった場所といわれています。

今は野鳥も多く、四季折々の風景が楽しめる散策の道です。



市民の作品展

俳句

狭山市俳句連盟の選による作品を掲載します。

ひとり来て机の準備夏座敷	風揺らす片栗の花笑む如し	木々の芽に風柔らかし窓開く	備長を叩いて熾す鰻の火	雷雲に心せかれて小走りに	尺蠖や終りから読むサスペンス	広々と続く青田や鷺の群
矢島 清	千葉 昭久	久下 温代	加藤 梅子	小高 朝子	石川 則子	赤羽 京子

編集後記

今年、サッカーなどで盛り上がる浦和レッズブレイブスに加入した栗島朱里さんは、平成21年に広報さやままで取材をさせていただいたことがあります。当時、市内の中学校に通っていた栗島さんは、浦和レッズブレイブスジュニアユースでキャプテンとして活躍していました。「浦和レッズブレイブスのトップチームに昇格したい」と語っていたのが印象的でしたが、次の目標は、レギュラーポジションの獲得になるのでしょうか。狭山市を拠点にプレーするA Sエルフェン狭山FCと同様、これからも狭山のでしこを応援していきたいと思えます。

👁️で見る「さやま」

■人口と世帯(市民課)※5月1日現在。()内は前月比

男	78,225人(-48人)	転入等	662人
女	76,933人(-31人)	転出等	719人
合計	155,158人(-79人)	出生	81人
世帯	65,473世帯(+33世帯)	死亡	103人

■4月の火災・救急件数(消防本部)

火災件数	4件(建物3件、その他1件)
救急出動件数	490件(搬送人員449人)

■交通事故・刑法犯罪件数(狭山警察署)

交通事故	1,067件(人身事故226件 内死者2人、物件事故841件)
刑法犯罪	402件(侵入窃盗16件、車上狙い15件、自動車盗等28件、その他343件)

※平成25年1月1日~4月15日の累計(概数)

